

ウェーブブロックの金属調加飾フィルム

米リビアンのEVに採用 スキッドプレートの表皮材に

ウェーブブロック・アドバンスト・テクノロジー(島田康太郎社長、東京都中央区)

は、米電気自動車(EV)メーカーのリビアン・オートモーターのピックアップトラック「R1T」に写真のスキッドプレートに金属調加飾フィルム(サテン調)が採用されたと発表した。リビアンは環境に配慮された技術や部品の搭載を目指しており、メッキ加工の代替えとして金属調加飾フィルムが選ばれた。

スキッドプレートは、地面に接触した際に車両下側の部品損傷を防ぐ装備。フロントとリアにあるスキッドプレート



トの表皮材としてフィルムが使用されている。

リビアンのSUV「R1S」への供給も決定している。